

日本腰痛学会評議員会議事録

開催日時：平成 20 年 10 月 31 日（金） 16：15～17：15

開催場所：シェーンバツハ・サポー 3F 会議室 「立山」 議長：野原 裕 会長

出席者：理事 12 名、評議員 28 名、（委任状 24 名）

会長挨拶

野原会長より、第 16 回日本腰痛学会開催についての報告がなされた。

議事

I. 報告事項

1. 庶務報告

1) 会員の動向

平成 20 年 10 月 27 日現在の会員数は 825 名で、今年度の新入会者は 54 名、退会者は 57 名、物故会員 1 名と報告があった。故原田征行先生に黙祷が捧げられた。

2) 事業報告

(1) 学術集会の開催

第 16 回学術集会が開催平成 20 年 11 月 1 日（土）シェーンバツハ・サポー（野原 裕会長）にて開催予定である。

(2) 委員会報告

平成 20 年 10 月 31 日 東京に於いて理事会、評議員会が開催され、11 月 1 日には編集委員会が開催予定である。

(3) 学会誌の発行

平成 20 年 10 月 30 日に第 14 巻 1 号を 1200 部発行した。投稿論文数は 26 編 である、内容は一般投稿 15 編、特別寄稿 1 編、学会の主題からの特集 5 編、特別企画 5 編である。

3) 2008 年優秀論文賞について

審査委員会による審議の結果、名古屋大学整形外科 酒井義人先生の論文 “前屈および後屈障害型腰痛における運動療法の効果” に決定した。

II. 審議事項

1. 平成 19 年度決算報告

配付資料に基づき決算報告がなされ、監事よりの会計監査結果を会長が代読し、承認された。

2. 平成 20 年度の事業計画、予算案審議

学術集会の開催、学会誌の発行、委員会の開催予定および予算案が提案され、承認された。

新規特別委員会として腰痛診療ガイドライン策定委員会の設置が認められたことを報告し、会則 第 17 条 3 項に従って白土修委員長および構成委員の承認が得られた。ガイドラインの内容

について GP や患者さんを対象とした広く社会に向けたものにしてほしいとの要望があった。

3. 次々々期会長の選出について

えにわ病院 副院長 佐藤栄修先生が推薦され承認された。

4. 新役員、新評議委員について

名誉会員に花井謙次先生、那須耀夫先生、栗原 章先生、田島直也先生が、特別会員に金田清志先生が推薦され、承認された。新理事に佐藤栄修先生（えにわ病院 副院長）が、監事に松崎浩巳先生の後任として中井 修先生（九段坂病院 院長）が推薦され、承認された。新評議員として島田洋一先生（秋田大学整形外科教授）、種市 洋先生（独協医科大学整形外科准教授）、飯田尚裕先生（独協医科大学越谷病院 整形外科准教授）、持田譲治先生（東海大学整形外科教授）、村上栄一先生（仙台社会保険病院整形外科部長）が推薦され、承認された。

5. 新入会者について

非医師入会者として鈴木重行先生（名古屋大学保健学科教授）が推薦され、承認された。

6. 脊椎関係統合雑誌への参加について

10月24日に京都にて開催された学会誌統合準備会の内容が当学会担当者である高橋和久先生より報告があり、現時点では各学会誌の独自性を維持した上で表紙や体裁を整えてゆく方向であること、発行部数は現状を維持し、例えば日本腰痛学会の号は日本腰痛学会の会員のみに配布する方向であることが伝えられ、確認された。

III. 次期会長挨拶

第17回日本腰痛学会会長として四宮謙一先生（東京医科歯科大学整形外科教授）が挨拶され、会期は平成21年11月21日（土）、22日（日）東京カンファランスセンター品川（東京）にて開催予定の旨が報告された。

第18回日本腰痛学会会長として星野雄一先生（自治医科大学整形外科教授）が挨拶され、会期は平成22年10月30日、場所は札幌プリンスホテル国際館パミールにて開催予定の旨が報告された。また spine week として日本側弯症学会、日本脊椎インストルメント学会との合同開催とし、10月27～30日に行う予定であることが報告された。